

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|--------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 1190200962 | | |
| 法人名 | 株式会社ヘルシーサービス | | |
| 事業所名 | ハイムガーデン東川口 | | |
| 所在地 | 川口市戸塚南2-8-9 | | |
| 自己評価作成日 | 令和4年12月28日 | 評価結果市町村受理日 | 令和5年2月28日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|-----------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター |
| 所在地 | 埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号 |
| 訪問調査日 | 令和5年1月27日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域に開かれたグループホームを目指し、近隣のスーパーマーケットやコンビニエンスストアにパンフレットや介護相談のチラシを貼り出している。在宅にいる介護に困った地域の方々との窓口になれば良いと考えている。ホーム外には介護や認知症に関するちょっとした豆知識のような情報を掲示し、情報発信をしている。以前から実施していた、散歩やガーデニングも継続している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

・「私たちは、お客様一人おひとりに寄り添い、その人らしい生活ができるように真心あるサービスを提供します」の理念のもと、職員を中心とした良好なチームワークのもと、歩行運動や工作づくりに励まれたり、仲良くおしゃべりを楽しむなど、利用者の思いとその人らしさを大切に、明るく健やかな暮らしに結び付けられている。
 ・運営推進会議は、コロナ禍の中、会議開催に替え、書面にて報告をし、事業所の取り組みについての評価や意見を頂き、運営やサービス向上に活かすと共に地域に開かれた事業所として質の確保を図られている。
 ・目標達成計画の達成状況については、火災発生を想定し、初期消火など基本訓練に取り組みされるほか、食料・器材などの備蓄品やライフライン寸断時の対策整備など、体制整備に取り組みされていることから、目標達成への取り組みが伺える。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|--|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている | 会社としての理念を掲げており、会議や研修の前に読み上げている。 | 「私たちは、お客様お一人おひとりに寄り添い、その人らしい生活ができるように真心あるサービスを提供します」の理念のもと、利用者が心身ともに健やかで、安心して暮らせるようチームケアに取り組まれている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域連携の会や、地域への介護相談チラシ掲示などを実践しているが、介護相談に繋がった実績はない。 | 最近では自粛をされているが、町会盆踊りへの参加や近隣住民と共に励む体操教室のほか、児童との交流など、利用者が地域とつながりながら暮らせるよう基盤づくりに努められている。 | 利用者が地域で暮らし続けるための基盤づくりに取り組まれています。更に、事業所特性についての理解を深めて頂くことと地域との関わりがより深まる取り組みに期待します。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | ホーム外にチラシを貼り出し、認知症や介護に関する情報を発信している。ブログも継続している。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | お客様、オーナー、地域包括支援センターとともに情報共有し、意見を貰っている。1月はホームで開催予定。 | 現在は書面での報告がなされ、行政ほか会議構成メンバーに送付し、情報の共有を図ると共に、意見・アドバイスを受け、事業所運営やサービス向上に活かされている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営上の相談・疑問点などはすぐに連絡している。 | 報告・連絡・相談時などでコミュニケーションを図られるほか、各種情報提供や抗原検査キットの支給など、良好な連携関係を築かれている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定義における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | お客様の安全を第一として、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 法人内研修や身体拘束廃止委員会が定期的に行われ、全職員が身体拘束の内容とその弊害を認識し、言葉での拘束を含め、行動の抑制をしないケアに取り組まれている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修にて、虐待に関する知識を深め、些細な事でも虐待に繋がることがあると、スタッフ間で意識している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | インフォーマルなサービス等の情報は地域包括などから得られるよう、情報交換を行っている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | お客様やご家族に分かりやすいよう、専門用語は使わないよう意識している。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情・相談窓口を設置している。 | 入居者とは日々の関わりの中で聴き取り、適宜対応されている。家族とは面会時や電話連絡時などで意見・要望を聞き取られている。その意見や要望は職員間で話し合い、サービスや運営に活かされている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 普段からのコミュニケーションは図るように意識している。直接意見を言われる機会が多い。 | 定例会議のほか、日常業務の中でも話し易い職場環境が作られ、意見・提案の聞き取りをされ、利用者の暮らしぶりなど、個別ケア対策が具現化されている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 自己評価する機会(人事考課制度)を設けたり、支援補助金などを活用して、本社と協力しながら、環境を整備している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人内研修を受ける機会はある。OJTについても行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域連携の会に参加し、地域の病院や居宅支援事業所との情報交換や勉強会を行っている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 見学の段階で、まずお客様並びにご家族様の困りごとを聞くように意識している。そういった会話の中から情報を得て、どういったサービスが良いのかを提案するようにしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 現段階で困っていること、これから不安な事を聞くことはもちろんであるが、どんな生活を希望するのかを聞くことも大切にしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 地域のサービス、また他の地域での対応など事例を交えながら説明をしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 家事など、できることを一緒にやりながら、生活を共にする仲間という関係性を築けていると思う。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会などを通じ、交流が途絶えないよう努めている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 友人や遠方の親戚などと連絡を取り合っている。 | 最近では自粛されているが、妹さんから地元名産品が届いたり、手紙のやり取り、馴染みのコンビニにスイーツを食べに出かけられるなど、これまで大切にしてきた関係が途切れないよう支援をされている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 座席の配慮などを行っている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | その後の様子などを問い合わせたり、契約終了後も交流をしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | できる限り、本人の意向に沿えるよう支援している。 | 利用者一人ひとりに寄り添い、声かけを行うことで、思いや意向を把握されている。把握の難しい利用者についても、非言語コミュニケーションも大切に、仕草や表情から汲み取られるほか、家族からの情報提供を頂き、利用者本位に検討をされている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご利用開始前に口頭や資料で確認したり、認定調査票を取り寄せて把握している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | お手伝いを頼みながら、どのくらいまでできるのか、さりげなく確認している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | サービス担当者会議を必ず開催し、他スタッフの意見などを積極的に取り入れている。 | 利用者・家族から思いや意向を聴きとり、医師・看護師からの指示を含め、全職員の意見やアイデアを活かし、その人らしさを大切に、きめ細かな介護計画が作成されている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ケアプラン項目のチェックを行っている。気づきについては、個人記録や申し送りノート等に記載している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 不明な点などは地域包括支援センターへ相談し対応している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域資源の把握がまだ不十分ではあるが、オレンジカフェなどに参加したいと考えている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 眼科などの専門医、精神科など在宅から受診している医療機関を継続利用している。 | 入居時に希望のかかりつけ医を選択していただき、状況に応じて協力医療機関への変更の相談にも応じられている。日常的に定期的な往診や看護師による健康管理が行われ、緊急時にも対応できる体制が整えられている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 1週間に1回、訪問看護師の訪問があるので、気になる事があれば、必ず相談するようにしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時の情報提供はもちろん、退院時の実態調査や看護師からの情報も取得するようにしている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 契約時に必ず説明している。そのタイミングが来たら、改めて往診医に相談し、医師からインフォームドコンセントをしてもらうようにしている。 | 利用者の症状に合わせ、重度化・終末期についての話し合いが持たれ、利用者・家族と意思統一を図られている。その後も意思の確認を進めながら、医師・看護師と連携のもと、重度化や終末期支援に取り組まれている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | OJTや研修にて実施している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練を実施している。風水害マニュアルなども準備し、もしもの災害に備えている。 | 定期訓練では新任職員を中心に、火災発生を想定し、初期消火、通報、避難誘導訓練に取り組まれている。また、食料・器材などの備蓄品やライフライン寸断時の対策整備など、体制整備に努められている。 | 災害対策は十分取り組まれています。高齢者を預かる事業所として、訓練を重ねて課題を見つけ解決するなど、組織対応力の維持向上に向けた継続的な取り組みに期待します。 |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 声掛けに関しては、当たり前のことではあるが「否定しない」を基本としている。 | プライドや気分を害する言葉がけはせず、プライバシーに関わる会話は控えるなど、利用者の人格を尊重した対応、排泄や入浴時の羞恥心に対する配慮など、きめ細かな対応がとられている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人が希望や自己決定をすることを基本としているが、ご本人に決定してもらう事が逆に混乱を招くこともあるため、状況や状態を考慮しながら働きかけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | できる限り、一人一人の希望やペースを尊重した支援を行っている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | その日の洋服をご本人で選んでもらったり、翌日に着る洋服と一緒に準備したりしている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 副食の取り分けをしてもらったり、食器の洗浄やお盆を拭いてもらうなどのお手伝いを依頼している。 | 利用者の力に合わせて、食事の準備や後片付けなど、職員と共に行っている。イベントの際にはお節料理や恵方巻が提供されるほか、畑で収穫した旬の食材を楽しまれるなど、食の楽しみを大切に支援が行われている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事の量、形状など工夫している。水分量・食事量を把握している。食事の介助についても、その日の状態によって異なるので、臨機応変に対応している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 口腔ケアは毎食後実施している。必要な方は訪問歯科の受診を行っている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表を活用して、把握に努めている。 | 一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、適宜、声かけを行なうほか、利用者個々に事前誘導を心掛けるなど、きめ細かなケアをされ、失敗防止やオムツ類の使用量削減と自立にむけた支援が行われている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 薬を使用したり、水分・運動・腹部マッサージなど、いろんな方法を試している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 声掛けし、希望に添えるようにしている。 | 週2回の入浴を基本とされているが、利用者の状況や希望に応じて柔軟に対応されている。また、体調不良で入浴できない場合は、シャワー浴や清拭、足浴など、状況に合わせて対応をされている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 室温や湿度などの環境を整備し、安眠できるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬情のファイルなどを全職員が見える場所に置き、いつでも薬についての情報を確認できるようにしている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 家庭菜園やガーデニング、カラオケ、散歩などを実施している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍ではあるが、近隣への散歩などから始めて、少しずつ外出も始めている。 | 現状、外出は自粛しているが、事業所周辺での散歩や外気浴のほか、近くのコンビニにスイーツを食べに出かけるなど、利用者の希望を大切に支援に取り組まれている。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | トラブルの原因となる事があるため、金銭はホームにて管理している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話や手紙などを書いている。字を書くことが苦手な方については代筆なども行っている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節感などは、スタッフがアイデアを考え、壁面飾りを制作したりしている。 | リビングには、正月飾りや節分祭の貼り絵が飾られ、利用者が季節を感じながら、気持ち良く過ごせるよう工夫をされている。また、換気や什器類の消毒、アクリル板の活用、職員の体調管理など、コロナ対策が徹底されている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 廊下に長椅子を設置し、少し自分の席を離れて過ごす時間も取れるようにしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅で使っていた家具などは、持ち込みOKなので、使い慣れたものを身近に感じながら過ごせるようにできていると思う。 | 馴染みのテレビや仏壇が持ち込まれているほか、プレゼントされたぬいぐるみなども持ち込まれ、利用者が落ち着いて過ごされるよう工夫をされている。また、定期的なりネン交換と毎日掃除の時間が設けられ、共用スペースを含め清潔維持と衛生管理に努められている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 「トイレ」の看板や「使用中」のプラカードなど視覚で分かるよう工夫している。 | | |

(別紙4(2))

事業所名: ハイムガーデン東川口

目標達成計画

作成日: 令和 5年 2月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|------------------------|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2 | 地域との交流が思うように図れておらず、「ハイムガーデン東川口」の存在が周辺の地域に周知されていない。 | 地域に開かれたグループホームを目指す。 | ホーム外、地元スーパーのチラシ貼り、気候の良い時季にはホーム外でのおやつなど、地域の方に知ってもらい取り組みをする。 | 12ヶ月 |
| 2 | 35 | 災害対策について、避難訓練や備蓄品管理、様々な場面を想定した対応の継続。 | 今後も訓練を重ね、災害時の対応を継続できる。 | 新入職者が入ったときは、そのタイミングで訓練を行うなど、全員が対応できるようにする。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。